

ないすな

【めざす子どもの姿】

いきいき 学び合う
のびのび 認め合う
力いっぱい 鍛え合う



遠足の秋

3・4年生は三瓶交流の家で、バームクーヘンづくりとクッカー（鍋）でのご飯づくり。

1・2年生はサンドミュージアムや仁摩図書館に行って、体験活動やお話を聞いたり見学したりしました。



がちゃんと
できた班も
模様



跳ねる秋



気候も涼しくなり、体を思いっきり動かして体育の授業や縦割り班活動にも熱が入ります。



学びの秋・体験の秋



川探検、お店見学、路線バス乗車、自然観察、室町文化体験（生け花）、辞典調べ、話し合い…。いろいろな体験や学習が深まります。そして、教員にとっては、授業研究の秋でもあります。



はためく秋



地域の方の取組と協働しました。子どもたちが夢（海）の絵を描き、まちセンの職員さんをはじめ地域の方がシャツに転写し、琴ヶ浜に夢（海）のTシャツがはためきました。



ありがとうございます ご家族の方が愛用していたけど使わなくなったので、と、天河内にお住まいの方から足つき碁盤と碁石を寄贈いただきました。囲碁教室で来校される地域の指導者の方や、プロの棋士の方もからも、「立派な碁盤ですね」と称賛されました。「囲碁教室」や「放課後囲碁活動」で腕を磨いた子どもたちが、立派な碁盤を使って対局する姿もやってきそうです。

第二回学校運営協議会

仁摩小学校は、「学校運営協議会」を設置する「コミュニティスクール」です。委員の任期は3年で、今年から新しい任期が始まりました。これまで、学校が掲げてきた「めざす子どもの姿」を地域と学校が共にすることをめざし、委員の一人、公民館主事の松原さんのファシリテーションで、意見を出し合いました。2月を目途に「仁摩がめざす子どもの姿」を掲げ、地域・学校共に取り組んでいく予定です。

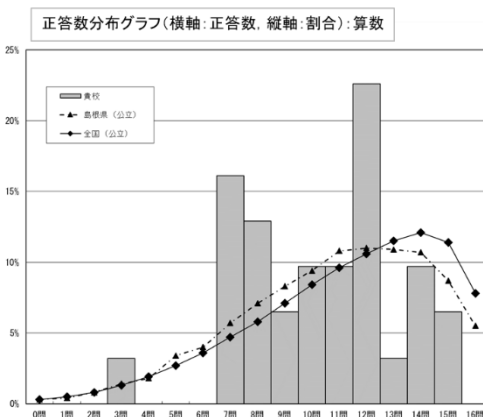
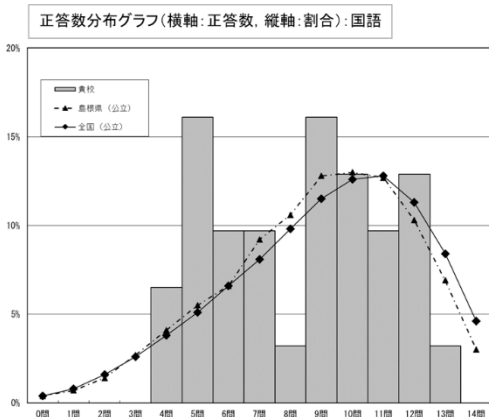


話し合い前のアイスブレイクで自己紹介。日頃出していない面も見て、和やかな雰囲気です。スタートしました。



3つのグループに分かれて、意見を出し合い、話し合いました。時間が経つのが早く感じるくらい、熱く語りあいました。

全国学力・学習状況調査より



文科省の集計資料より：教科の設問の内、正答したものが何問か、をグラフ化。

5月に6年生が受けた調査の結果分析の一部です。全国平均と県平均を見ると、下位の児童の差はほとんど無く、中位~上位の児童が「あと1問」正答できれば、全国平均並みの分布になります。本校（棒グラフ）も同様のことが言えますが、特に、上位の頑張りりと下位~中位の基礎・基本の確実な定着が必要です。

別の資料からは、選択問題での正答率は全国平均なみであるものの、短答式・記述式の正答が低いことも分かりました。また、学習指導要領上の領域では、国語で「言葉の特徴や使い方に関する事項」、算数で「変化と関係」に弱みがありました。国語の「話すこと・聞くこと」や算数の「データの活用」など、県平均を上回る強みもあります。

11月~12月は、5・6年生を中心に、「放課後学習会」を予定しています。また、これからの時期は大きな行事や活動もひと段落し、学びの時間にじっくりと取り組めるようにもなります。強みを生かして弱みの克服や学びのつまづきの解決に取り組んでいきたいと思ひます。

【校内寸描】



4年生がさつま芋を収穫。実は夏にサルにやられて全滅。職員の献身的な努力で何とか収穫できました。

校門脇のセンジュラン（Google・レンズによる）が白い花を付けました。開花時期は6から8月とされていますが、10月に入ってから花をつけました。



【編集雑記】

「元気に明るいあいさつをしよう!!」と、問題意識をもつ児童会の総務委員会が呼びかけ、活動を行いました。クラスごとに競い合う形で動機づけをし、朝の校舎内は活気にあふれました。朝夕、開けている校長室の入り口から顔を見せ、元気な声であいさつをしてくれる子どもたちもいます。ただ、街頭指導の時に気になることも。登下校時に地域の方に元気なあいさつができていないのか、心もとない思いもしています。

「あいさつをしない方が良い」と考える児童は、いません。「した方がいいのは分かっているけど…」ということも、あいさつの他にもたくさんあります。動議づけで、元気な明るいあいさつができる子どもたちです。消極的な思いを吹き飛ばす、年上の者や上級生の姿を見せること、進んで取り組む雰囲気醸成を心がけていきたいと思ひます。

文責・校長 舟木志郎